

レコード カセット デジタル 変換

取り扱い説明書

シリアルナンバーは大切に保管してください。

IRT0339

※ソフトインストール時や最新版アップデートの際に必要となります。

製品ご利用の前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。
※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。



目次

動作環境・その他	2
インストール方法とアンインストール方法	3～5
起動方法	6
画面各部の説明	
メイン画面 (STEP:1 録音ルーム)	7～8
メイン画面 (STEP:2 調整ルーム)	9～15
メイン画面 (STEP:3 出力ルーム)	16～17
プレイヤーなどから音を録音・書き出しする	18～47
Q & A	48～52
ユーザーサポート	裏表紙

動作環境

- 対応OS: Windows XP / Vista / 7 ※Macには対応していません。
※日本語版32ビットOSのみの対応です。64ビットでは、WOW64(32ビット互換モード)で動作します。
各種ServerOS等には対応していません。
- サービスパック: 最新のサービスパック(SP)及び各種パッチが適用されている環境が前提です。
- CPU: 2.0GHz Pentiumまたは同等クラスのプロセッサ以上
- メモリ: WindowsXPの場合は512MB以上必須 / WindowsVista、7の場合は1GB以上必須
- モニター: 1024×768以上の解像度で色深度32bit True Color以上の表示をサポートしている環境
- CD-ROM: 倍速以上
- ハードディスク: 1GB以上の空き容量(インストール時)
これ以外にシステムドライブ上に変換作業用の空き容量や、データ保存の為の空き容量が別途必要です。
- その他: インターネット環境必須、iTunes 10以上 / QuickTime 8以上が正常に動作している環境、
iTunes10以上が正常に動作している環境 / 対応ファイルを正常に再生できる環境 /
ライン入力のあるサウンドデバイス / レコードやカセットのプレイヤー、Android搭載
端末などの各種接続機器が正常に動作している環境が必要です。
※Windows XPでは内部録音機能が必要な場合があります。
※本ソフトの最新情報の確認、アップデートを行う際にインターネット接続環境が必要です。
- 対応ファイル形式 出力: MP3 / WAV / WMA

※上記OSが正常に機能し、OSの最低動作環境を満たしていることが前提です。
※管理者権限を持ったユーザーでお使いください。
※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。

■同梱品 ステレオミニプラグ3.5mm—3.5mm (2m) RCAプラグステレオミニプラグ3.5mm (2m)

■ご注意

- ※各種アップデートや最新情報の確認を行う際にはインターネット接続環境が必要です。
- ※激安革命シリーズや他のソフトとの互換性はありません。
- ※パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。
- ※本ソフトは音楽(音声)を録音してパソコンに保存、または「iTunes」や「Android搭載端末」へ転送します。
- ※作業に必要なハードディスクの容量は録音時間や作業内容に依存します。
- ※本ソフトで保存した音楽(音声)をパソコンで再生する場合は、別途再生環境が必要です。
- ※出力ファイルの再生に必要なコーデック、フィルター等が必要です。
- ※本ソフトは全ての音楽(音声)入力、ファイル出力及び各種出力を保証するものではありません。
- ※本ソフト対応以外へのファイル変換並びに転送機能、CD・DVDヘライティング機能は備わっておりません。
- 音楽(音声)の取り込み(録音)について
- ※パソコン内部に流れる音を録音するため、接続機器やパソコンの動作音が録音される場合もあります。
- ※保存される音楽(音声)のサイズ等は変換方式により変わります。
- ※接続機器側並びにパソコン側に各種入力端子が無いなどパソコン上で音が確認できない(流れていない)場合やパソコンに負荷がかかっている場合、またハードディスクの空き容量が足りない場合などでは録音作業等が正常に行えない場合があります。
- ※品質は元の音楽(音声)データ、パソコンや接続機器の環境等に左右されます。
- Android搭載端末について
- ※転送する前にAndroid搭載端末をマウントしてください。マウントする方法についてはAndroid搭載端末のマニュアルをご確認ください。
- ※Android搭載端末へ転送する際はファイル転送モードにした状態で転送をしてください。
- ※パソコンとAndroid搭載端末の接続用ケーブルは同梱されていません。
- ※本ソフトで出力(転送)したファイルをAndroid搭載端末で再生するには、再生プレイヤーが保存形式に対応していないと再生できません。
- その他
- ※OSの動作・設定等は弊社サポート対象外となりますので、メーカーサポートを受けることのできるパソコンでのご利用をお勧めいたします。
- ※本ソフトは1ソフト・1PCとなります。複数台のパソコンでご利用の場合は台数分のソフトが必要となります。また、ネットワーク経由で本ソフトを使用することはできません。
- ※パソコン本体等の各種ハードウェア、各種ソフトウエアについてのお問い合わせやサポートにつきましては、各メーカーに直接お問い合わせください。
- ※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。

その他

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
Mac、iTunes、iPod、iPod touch、iPhone、iPadは米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションの登録商標または商標です。
その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、商標又は登録商標です。
製品の仕様、パッケージ、画面内容等は予告無く変更することがありますので予めご了承ください。
本ソフトを著作者の許可無く複製等の営利目的で使用することを禁止します。改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。
本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。本ソフトを運用された結果の影響につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受けいたしかねますので予めご了承ください。

インストール方法とアンインストール方法

インストール方法

お使いのパソコンに『レコード カセット デジタル 変換』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が1GB以上必要（左記以外にシステムドライブ上に変換作業用の空き容量や、データ保存の為に空き容量が別途必要です。）です。

○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CDが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。
パソコンの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。
その場合は、[コンピューター※]→[CDまたはDVDドライブ]→[SETUP.EXE]をダブルクリックしてください。

※Windows XPの場合は[マイコンピュータ]、
Windows Vistaの場合は[コンピュータ]



2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。



3 インストール先のフォルダーを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。
インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックしてください。
※通常は、インストール先を変更しなくても結構です。



インストール方法とアンインストール方法

4 設定の内容を確認してください。

確認用の画面が表示されます。
よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。




5 インストール完了！


インストールが正常に終了すると右のような画面が表示されますので
完了 ボタンをクリックしてください。



アンインストール方法

お使いのパソコンから『レコード カセット デジタル 変換』をアンインストール（削除）します。

Windows 7の場合、本ソフトを完全に終了して  ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「レコード カセット デジタル 変換」を選択して「アンインストール」をクリックすると、確認メッセージがでますので、**はい** ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。

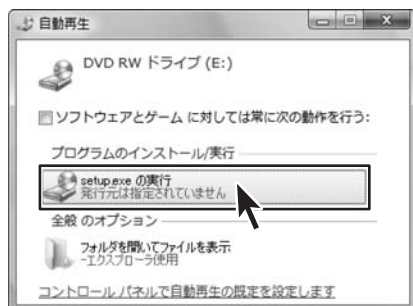
※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストールと変更」から、アンインストールを行ってください。

※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」から、アンインストールを行ってください。

インストール方法とアンインストール方法

インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合

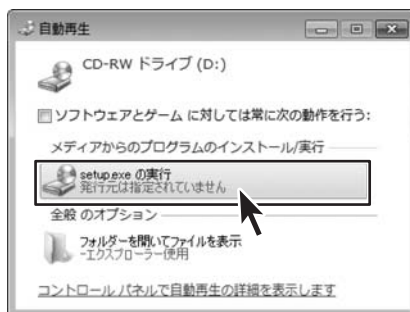
次の手順で作業を続けてください。



Windows Vistaで

[自動再生]画面が表示された場合

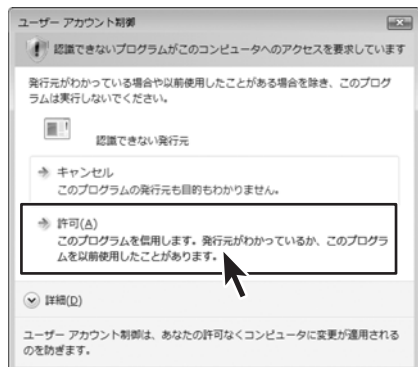
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で

[自動再生]画面が表示された場合

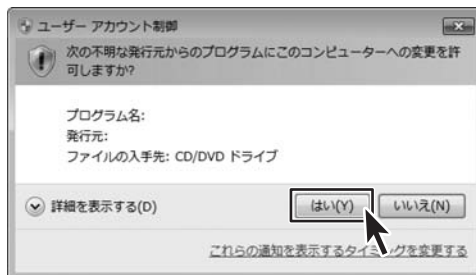
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows Vistaで

[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合

[許可]をクリックしてください。





Windows 7で**[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合**

[はい]をクリックしてください。

起動方法

より良い環境でソフトを使用していただくために、**IRTホームページ** (<http://irtnet.jp/>) をご確認ください、アップデートを行うことをおすすめいたします。アップデートはソフト上で発生している問題等の修正や、より使いやすく改良が行われている場合があります。



デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックするか、デスクトップ左下の
 ボタン（Windows Vistaの場合は  ボタン、Windows XPの場合は[スタート]ボタン）を
クリックして「すべてのプログラム」→「IRT」→「レコード カセット デジタル 変換」→
「レコード カセット デジタル 変換」をクリックしますと本ソフトが起動します。

本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「レコード カセット デジタル 変換」の
ショートカットアイコンが作成されます。



レコード カセット
デジタル 変換

レコード カセット デジタル 変換
デスクトップショートカットアイコン

画面・各部の説明

メイン画面(STEP:1 録音ルーム)

「レコード カセット デジタル 変換」を起動すると(起動方法は6ページを参照)、下のような画面が表示されます。



音声ガイド

音声と矢印で「レコード カセット デジタル 変換」の操作方法を説明します。

情報

「レコード カセット デジタル 変換」のバージョン情報を表示します。

1 ステップ表示欄

各STEPが表示されています。現在表示されているSTEPの画面が黄色で囲まれて表示されます。

作業ファイルのリカバリ

録音または作業途中の音のファイルがパソコン内に残っている場合に、作業ファイルのリカバリ画面を表示します。
※パソコン内に音のファイルが残っていない場合には、ボタンは表示されません。

2 入力システム表示欄

お使いのパソコンの入力系統(録音に使用するパソコン内の装置)が表示されます。ここで、録音に使用する入力系統を選択します。Windows XPではサウンドデバイス、Windows Vista、Windows 7では入力系統が表示されます。

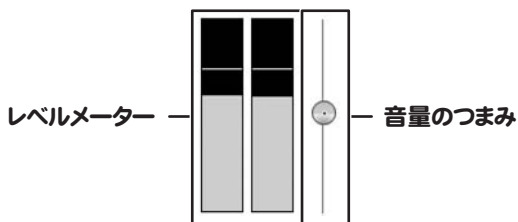
入力系統を決定

入力系統表示欄で選択した入力系統を録音で使用する系統として設定します。

戻る

入力系統表示欄で設定した入力統計をキャンセルして、入力系統を選択し直します。

画面・各部の説明



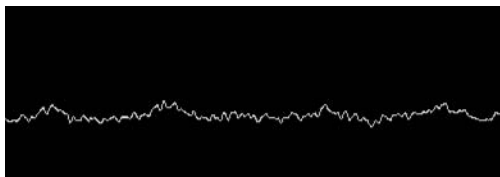
レベルメーターと音量

つまみをドラッグして、録音する音量を設定します。
設定した録音する音量に合わせて、レベルメーターが動きます。
録音する音量は、緑～黄色内でレベルメーターが動いていれば、適度な音量です。
※大きい音で録音すると、録音した音が割れたり、ノイズが入ったりと正常に録音できない場合があります。



録音時間

録音している時間が表示されます。



波形スコープ

再生、録音している音の波形が表示されます。



音声モニター

現在のスピーカーでモニターする

チェックを入れると、録音している音をスピーカーで聴くことができます。
録音している音がスピーカーから聴こえない場合にチェックを入れることによって改善される場合があります。
※録音中の音がスピーカーから聴こえる場合は、チェックを入れなくても問題ありません。

音量のつまみ

つまみをドラッグして、スピーカーで再生される音量を設定します。

録音コントロール



録音開始

設定した内容で録音を開始します。



一時停止

録音を一時停止します。



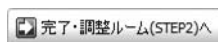
録音のやりなおし

現在行っている録音を破棄して、はじめから録音をやり直します。



再開

一時停止した録音を再開します。



完了・調整ルーム(STEP2)へ

録音を完了して、STEP:2 調整ルームを表示します。

画面・各部の説明

メイン画面(STEP:2 調整ルーム)



録音終了時直後の状態に戻します。



行った操作を1段階元に戻します。

ホーム チャプター その他のエフェクト

各タブをクリックすると、
画面を切り替えることができます。

ホームタブ



録音、調整した音をカーソルの位置から再生します。



再生した音を停止します。



カーソル、再生位置を表示します。



つまみをドラッグして、再生時の音量を設定します。

画面・各部の説明



録音した音の音量を調整します。
ボリューム調整画面が表示されます。



ボリューム調整

⊕ ⊖ をクリック、もしくはつまみをドラッグして、音量を設定します。

ゲイン

ボリューム調整で設定した音量のゲイン値が表示されます。

増幅倍率

ボリューム調整で設定した音量の増幅倍率が表示されます。

最初から最後まで全て処理 (選択範囲無視)

チェックを入れると、選択範囲に関係なく、録音した音の最初から最後にボリューム調整で設定した音量を適用します。

※[波形表示欄]で選択範囲を設定していない場合は、選択することができません。

OK

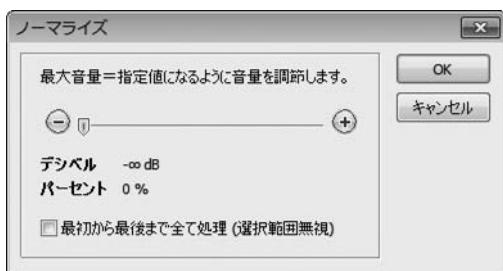
ボリューム調整画面を閉じて、録音した音にボリューム調整で設定した音量を適用します。

キャンセル

録音した音にボリューム調整で設定した音量を適用せずに、ボリューム調整画面を閉じます。



録音した音が設定した音量になるように調整します。
ノーマライズ画面が表示されます。



最大音量

⊕ ⊖ をクリック、もしくはつまみをドラッグして、最大音量を設定します。

デジベル

最大音量で設定した音量のデジベル値が表示されます。

パーセント

最大音量で設定した音量のパーセント値が表示されます。

最初から最後まで全て処理 (選択範囲無視)

チェックを入れると、選択範囲に関係なく、録音した音の最初から最後に最大音量で設定した音量を適用します。

※[波形表示欄]で選択範囲を設定していない場合は、選択することができません。

OK

ボリューム調整画面を閉じて、録音した音にボリューム調整で設定した音量を適用します。

キャンセル

録音した音にボリューム調整で設定した音量を適用せずに、ボリューム調整画面を閉じます。

画面・各部の説明



波形表示欄で選択した範囲の音にフェードイン（次第に音が大きくなる効果）を適用します。



波形表示欄で選択した範囲の音にフェードアウト（次第に音が小さくなっていく効果）を適用します。

チャプタータブ



録音した音内の音の切れ目を探して、自動でチャプターを設定します。



波形表示欄で設定したカーソルの位置にチャプターを設定します。



波形表示欄で設定したカーソルの位置にあるチャプターを削除します。

トラックリスト

チャプターを設定後、複数にわけたチャプターの一覧が表示されます。各チャプターをダブルクリックすると、波形表示欄で該当のチャプターが選択されます。

その他のエフェクトタブ



波形表示欄で選択した範囲の音を無音にします。



波形表示欄で選択した範囲の音をホワイトノイズに置き換えます。ノイズ画面が表示されます。



ノイズの最大振幅

⊕ ⊖ をクリック、もしくはつまみをドラッグして、ノイズの最大振幅を設定します。

最大振幅

ノイズの最大振幅で設定した振幅の値が表示されます。

OK

ノイズ画面を閉じて、選択した範囲の音にノイズの最大振幅で設定したホワイトノイズを適用します。

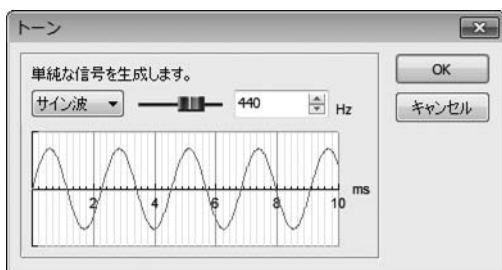
キャンセル

選択した範囲の音にノイズの最大振幅で設定したホワイトノイズを適用せずに、ボリューム調整画面を閉じます。

画面・各部の説明



波形表示欄で選択した範囲の音を単純な波形で置き換えます。



サイン波 ▼

▼をクリックして、信号の種類を選択します。



つまみをドラッグして、波の大きさを設定します。

440 ▲ ▼ Hz

▲▼をクリックして、波の数を設定します。

OK

トーン画面を閉じて、選択した範囲の音に設定したトーンを適用します。

キャンセル

選択した範囲の音に設定したトーンを適用せずに、トーン画面を閉じます。



波形表示欄で選択した範囲の音に
なめらかなフェードイン（次第に音が大きくなって
くる効果）を適用します。



波形表示欄で選択した範囲の音に
なめらかなフェードアウト（次第に音が小さくなって
いく効果）を適用します。



波形表示欄で選択した範囲の音に指定した
周波数の範囲を減らすフィルターを適用します。
フィルター画面が表示されます。



低域通過 ▼

▼をクリックして、カットする低音、高音を選択します。

1000 ▲ ▼ Hz 2000 ▲ ▼ Hz

▲▼をクリックして、カットする低音、高音の周波数を設定します。

フィルターを準備

設定した周波数のフィルターを赤い線で表示します。

最初から最後まで全て処理 (選択範囲無視)

チェックを入れると、選択範囲に関係なく、録音した音の最初から最後にフィルターを適用します。

※[波形表示欄]で選択範囲を設定していない場合は、選択することができません。

OK

フィルター画面を閉じて、選択した範囲の音に設定したフィルターを適用します。

※赤い線（フィルター）が表示されていない状態では押すことができません。

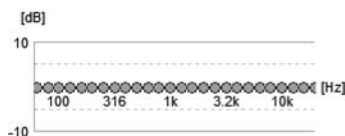
キャンセル

選択した範囲の音に設定したフィルターを適用せずに、フィルター画面を閉じます。

画面・各部の説明



波形表示欄で選択した範囲の音の音質を調整する（音量を増幅、減衰する）ことができます。
E Q画面が表示されます。



各周波数の青い○をドラッグして、音質を調整します。

最初から最後まで全て処理（選択範囲無視）

チェックを入れると、選択範囲に関係なく、録音した音の最初から最後にE Qを適用します。

※[波形表示欄]で選択範囲を設定していない場合は、選択することができません。

OK

E Q画面を閉じて、選択した範囲の音に設定したE Qを適用します。

キャンセル

選択した範囲の音に設定したE Qを適用せずに、E Q画面を閉じます。



波形表示欄で選択した範囲の音のヒスノイズ（高周波数のノイズ音）を低減することができます。
デノイズ画面が表示されます。



有効

クリックして、ボタンを青い状態にすると、設定したデノイズを選択した範囲の音に適用してプレビューで再生、確認することができます。

再度クリックすると、灰色の状態に戻り、録音したままの音をプレビューで再生、確認することができます。

<弱い 強い>

つまみをドラッグして、デノイズを適用する強さを設定します。

プレビュー



設定したデノイズを音に適用して、再生します。



再生した音を停止します。



音の再生位置を表示したり、つまみをドラッグして再生位置を変更することができます。

画面・各部の説明



00:00:00

音の再生位置を表示します。

最初から最後まで全て処理 (選択範囲無視)

チェックを入れると、選択範囲に関係なく、録音した音の最初から最後にデノイズを適用します。

※[波形表示欄]で選択範囲を設定していない場合は、選択することができません。

OK

デノイズ画面を閉じて、選択した範囲の音に設定したデノイズを適用します。

キャンセル

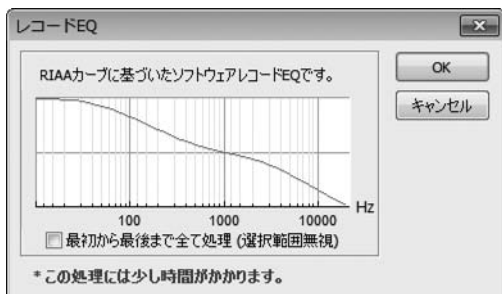
選択した範囲の音に設定したデノイズを適用せずに、デノイズ画面を閉じます。



つまみをドラッグして、プレビューで再生する音の音量を設定します。



波形表示欄で選択した範囲の音にフォノイコライザーを適用します。
レコードEQ画面が表示されます。



最初から最後まで全て処理 (選択範囲無視)

チェックを入れると、選択範囲に関係なく、録音した音の最初から最後にフォノイコライザーを適用します。

※[波形表示欄]で選択範囲を設定していない場合は、選択することができません。

OK

レコードEQ画面を閉じて、選択した範囲の音にフォノイコライザーを適用します。

キャンセル

選択した範囲の音にフォノイコライザーを適用せずに、レコードEQ画面を閉じます。

画面・各部の説明

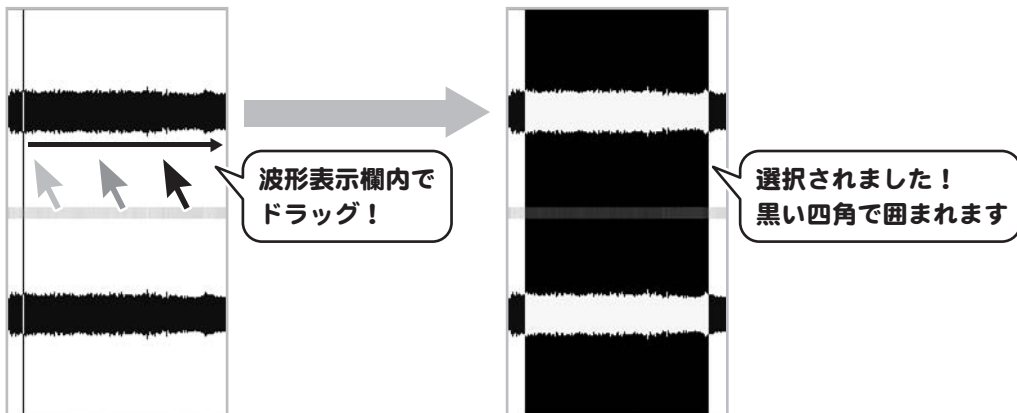
波形表示欄

録音した音の波形が表示されます。

上から、Lchの音量推移、音量の色表現(音量が大きいところは赤く、小さいところは青または黒で表示される)、Rchの音量推移を表しています。

波形表示欄内でクリックすると、カーソル、再生位置が変更できます。

波形表示欄内でドラッグすると、録音した音を選択することができます。



戻る・録音ルーム(STEP1)へ

STEP1:録音ルームに戻ります。

完了・出力ルーム(STEP3)へ

調整を完了して、STEP:3 出力ルームを表示します。

画面・各部の説明

メイン画面(STEP:3 出力ルーム)



トラック一覧

録音した音の一覧が表示されます。

STEP:2 調整ルームでスキャンまたはチャプターを設定した場合は、各チャプターをトラックとして一覧に表示します。チェックボックスにチェックが入っているトラックを書き出すことができます。

ファイルに書き出し



トラック一覧でチェックを入れたトラックをWAVE形式で書き出します。



トラック一覧でチェックを入れたトラックをMP3形式で書き出します。



トラック一覧でチェックを入れたトラックをWMA形式で書き出します。

ソフト・デバイスへ転送



トラック一覧でチェックを入れたトラックをiTunesへ転送します。
MP3形式で書き出します。




トラック一覧でチェックを入れたトラックをAndroid機器（MTP転送対応機種のみ）へ転送します。
MP3形式で書き出します。

画面・各部の説明

 戻る・調整ルーム(STEP2)へ

STEP2:調整ルームに戻ります。

 新規・録音ルーム(STEP1)へ

STEP:1録音ルームに戻り、新規に録音をはじめます。

 終了

「レコード カセット デジタル 変換」を終了します。

プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

1 パソコンにレコードやカセットプレイヤーなどの再生機器を接続します

ケーブルが同梱されています。

パッケージに同梱されているケーブルはパソコンと再生機器をつなぐケーブルがない場合にご利用になれます。

2 「レコード カセット デジタル 変換」を起動します

起動方法は、6ページをご覧ください。

3 入力系統を選びます

本ソフトを起動したら、まず、再生機器からパソコンに音を入力する入力系統を選択します。

入力系統表示欄にお使いのパソコンの入力系統が表示されますので、録音に使用する入力系統を○をクリックして選択します。
(ここでは、[マイク]を選択します)

※お使いのパソコンが、
Windows XPではサウンドデバイス、
Windows Vista、Windows 7では
入力系統が表示されます。

入力系統を選択したら、
入力系統を決定 ボタンをクリックします。

正常に設定が終わりますと、
再生機器の波形とレベルメーターが
表示されます。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

4 録音を開始します

音を録音する準備が終わりましたら、**録音開始** ボタンをクリックします。

[録音時間]の時間表示が進み、録音がはじまります。

録音をしたら、録音を終了したい時間で**完了・調整ルーム (STEP2) へ** ボタンをクリックします。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という画面が表示され、STEP2:調整ルームの画面が表示されます。

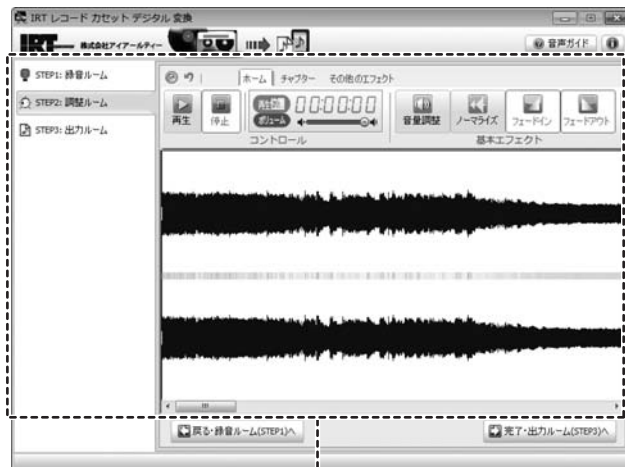


録音時間が進みます

完了・調整ルーム (STEP2) へ ボタンをクリック!

処理中です。しばらくお待ちください。

プレイヤーなどから音を録音・書き出しする



STEP:2 調整ルームが表示されました

5 録音した音を調整します

音を録音したら、
録音した音を調整します。

まず、波形表示欄内でドラッグして、
音を調整する範囲を設定します。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

ホームタブ 音量調整をする

音を調整する範囲を設定したら、
ボタンをクリックします。



ボリューム調整画面が表示されますので、
各項目を設定して、
OK ボタンをクリックします。

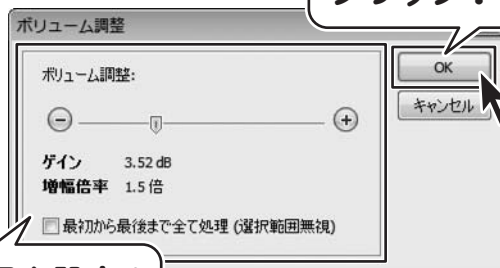
音量調整の処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
設定した音量調整が録音した音に
適用されます。



OK ボタンを
クリック!

2

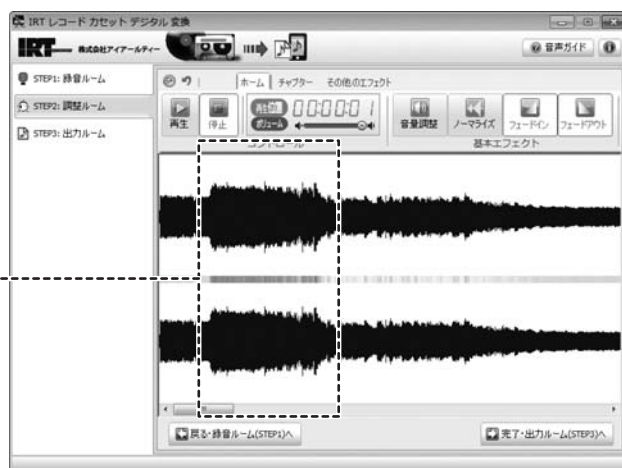


各項目を設定!

1



音量調整が適用されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

ホームタブ 録音した音が設定した音量になるように調整をする

音を調整する範囲を設定したら、

ボタンをクリックします。

ノーマライズ

ノーマライズ画面が表示されますので、
各項目を設定して、

OK ボタンをクリックします。

ノーマライズの処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、

[XX倍の音量増幅を行いました。]という画面
が表示されますので、

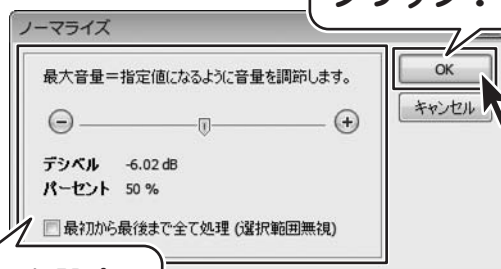
OK ボタンをクリックします。

最後に、メイン画面が表示されれば、
設定した最大音量が録音した音に
適用されます。



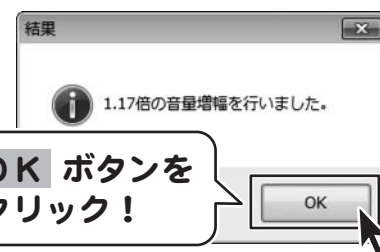
OK ボタンをクリック!

2



各項目を設定!

1



OK ボタンをクリック!

プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

ホームタブ 録音した音にフェードイン効果を設定する

フェードインを設定する範囲を設定したら、
ボタンをクリックします。

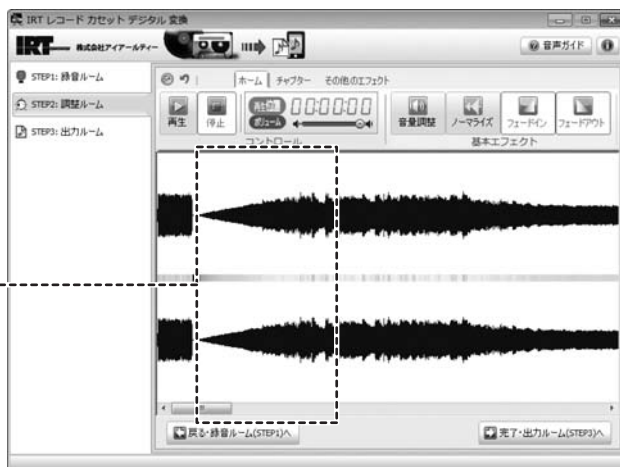


フェードインの処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
フェードイン効果が録音した音に
適用されます。



フェードインが適用されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

ホームタブ 録音した音にフェードアウト効果を設定する

フェードアウトを設定する範囲を設定したら、



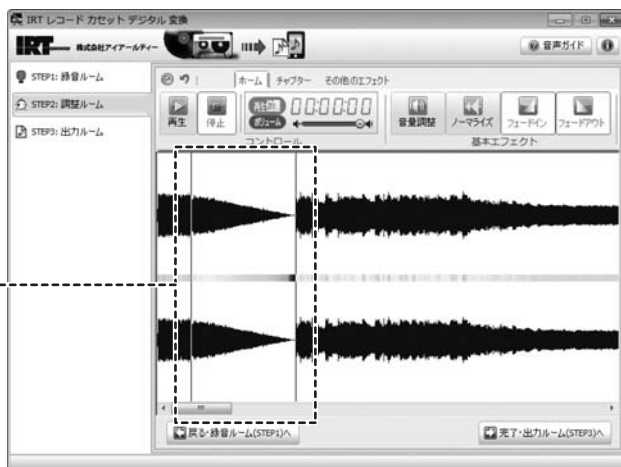
ボタンをクリックします。

フェードアウトの処理が始まり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
フェードアウト効果が録音した音に
適用されます。



フェードアウトが適用されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

チャプタータブ 録音した音に自動でチャプターを設定する



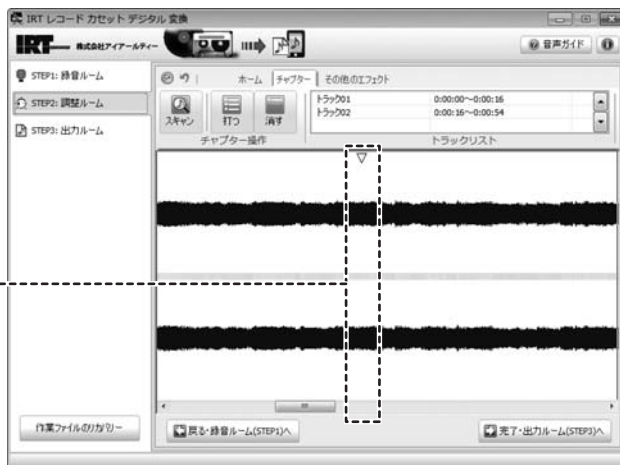
ボタンをクリックします。

スキャンの処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
録音した音に自動でチャプターが設定されて
います。



処理中です。しばらくお待ちください。



チャプターが設定されました

プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

チャプタータブ 録音した音にチャプターを設定する

チャプターを設定する場所をクリックします。
チャプターを設定する場所が設定されると、
カーソルが設定した場所で点滅して
表示されます。

チャプターを設定する場所を設定したら、
ボタンをクリックします。



設定した場所に▽が表示され、チャプターが
設定されます。

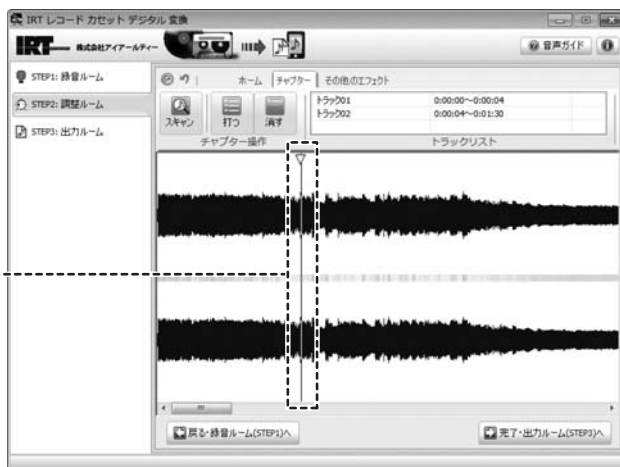


チャプターを設定する
場所をクリック！



ボタンを
クリック！

チャプターが設定されました




プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

チャプタータブ 録音した音に設定したチャプターを削除する

削除するチャプターをクリックします。
削除するチャプターにカーソルが点滅して表示されます。

削除するチャプターにカーソルを点滅させましたら、

 ボタンをクリックします。

カーソルが点滅して表示されていた場所の▽が削除され、チャプターが削除されます。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

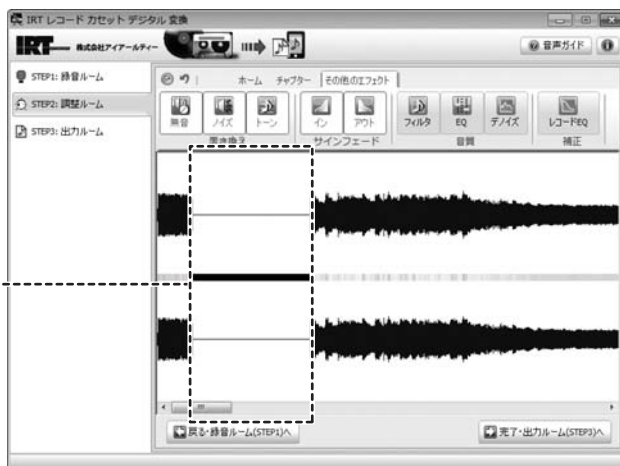
その他のエフェクトタブ 録音した音に無音効果を設定する

無音する範囲を設定したら、
ボタンをクリックします。



無音の処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
無音効果が録音した音に適用されます。



無音が適用されました

プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

その他のエフェクトタブ 録音した音にホワイトノイズ効果を設定する

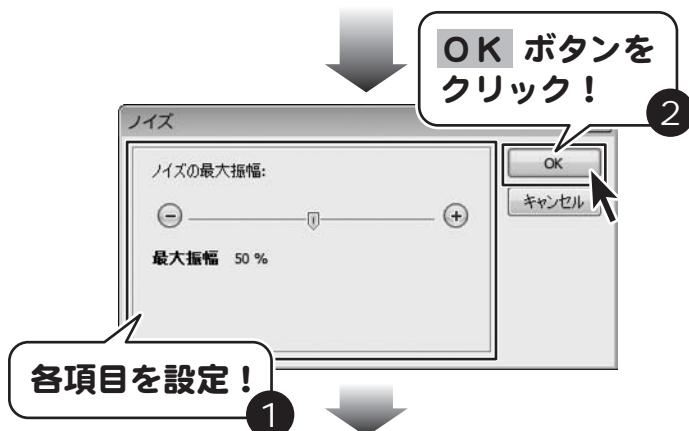
ホワイトノイズを設定する範囲を設定したら、
ノイズ ボタンをクリックします。



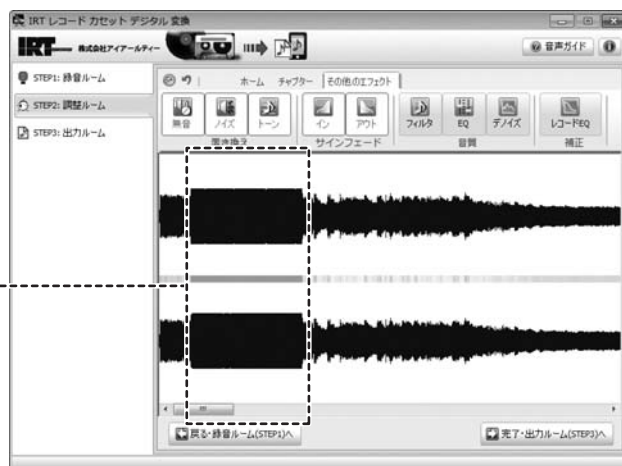
ノイズ画面が表示されますので、
各項目を設定して、
OK ボタンをクリックします。

ホワイトノイズの処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
ホワイトノイズ効果が録音した音に適用されます。



ホワイトノイズが適用されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

その他のエフェクトタブ 録音した音を単純な波形で置き換える

単純な波形を設定する範囲を設定したら、
ボタンをクリックします。



トーン画面が表示されますので、
各項目を設定して、
OK ボタンをクリックします。

単純な波形の処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
単純な波形が録音した音に適用されます。



OK ボタンを
クリック!

2

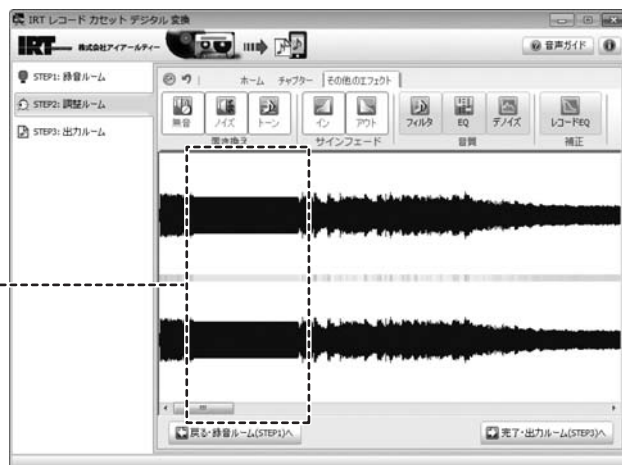


各項目を設定!

1



単純な波形が適用されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

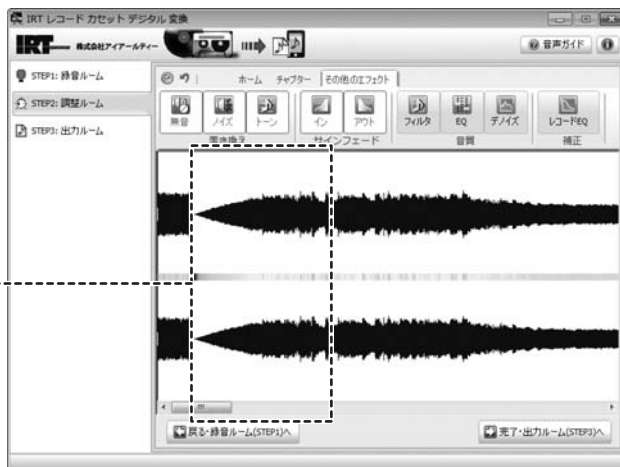
その他のエフェクトタブ 録音した音になめらかなフェードイン効果を設定する

フェードインを設定する範囲を設定したら、
ボタンをクリックします。



フェードインの処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
フェードイン効果が録音した音に
適用されます。



フェードインが適用されました

プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

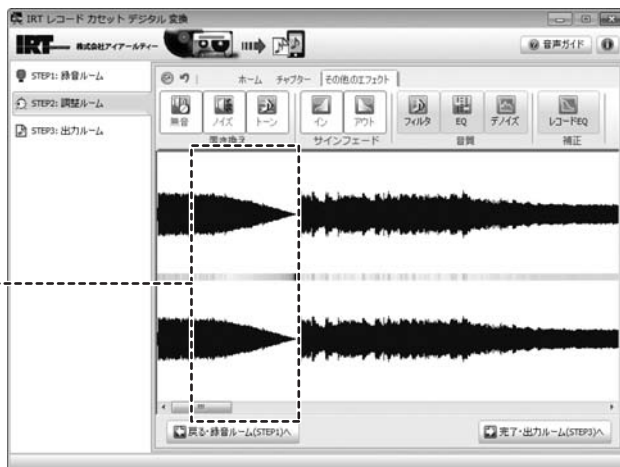
その他のエフェクトタブ 録音した音になめらかなフェードアウト効果を設定する

フェードアウトを設定する範囲を設定したら、
ボタンをクリックします。



フェードアウトの処理が始まり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
フェードアウト効果が録音した音に
適用されます。



フェードアウトが適用されました

プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

その他のエフェクトタブ 録音した音にフィルター効果を設定する

フィルターを設定する範囲を設定したら、
フィルター ボタンをクリックします。



フィルター画面が表示されますので、
減らす周波数を設定して、
フィルターを準備 ボタンをクリックします。

設定した周波数のフィルターが赤い線で
表示されますので、設定を確認し、
OK ボタンをクリックします。



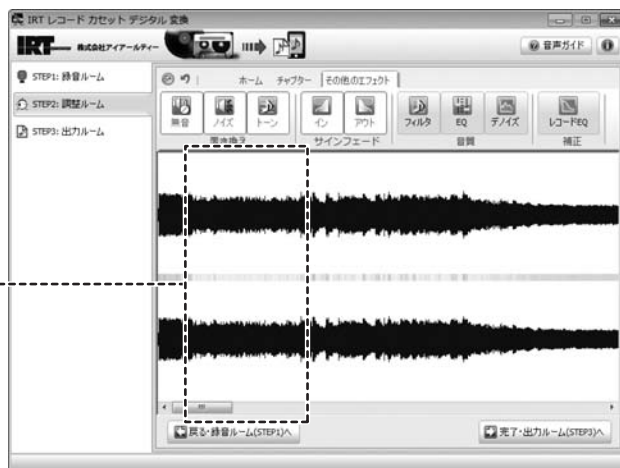
プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

フィルターの処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
フィルターが録音した音に適用されます。



フィルターが適用されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

その他のエフェクトタブ 録音した音の音質を調整する

音質を調整する範囲を設定したら、
EQ ボタンをクリックします。



EQ画面が表示されますので、
各項目を設定して、
OK ボタンをクリックします。

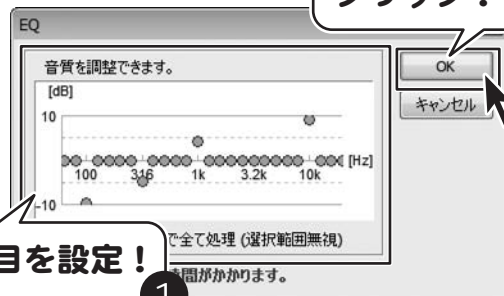
音質を調整する処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
調整した音質が録音した音に適用されます。



OK ボタンを
クリック!

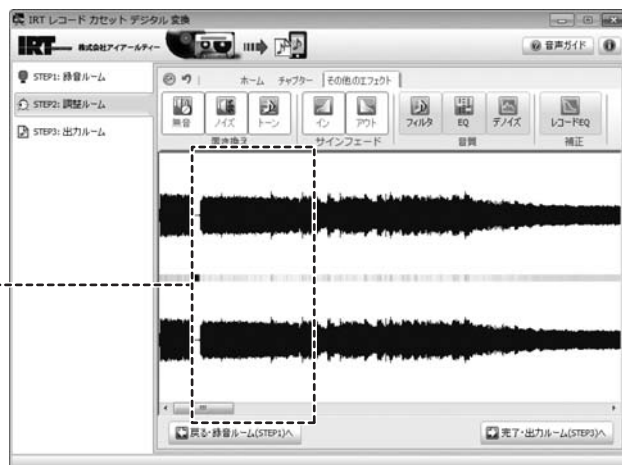
2



1



音質が調整されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

その他のエフェクトタブ 録音した音のヒスノイズを低減する

ヒスノイズを低減する範囲を設定したら、
ボタンをクリックします。



デノイズ画面が表示されますので、
各項目を設定して、
OK ボタンをクリックします。

ヒスノイズを低減する処理がはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が消え、メイン画面が表示されれば、
録音した音のヒスノイズが低減されます。



OK ボタンを
クリック!

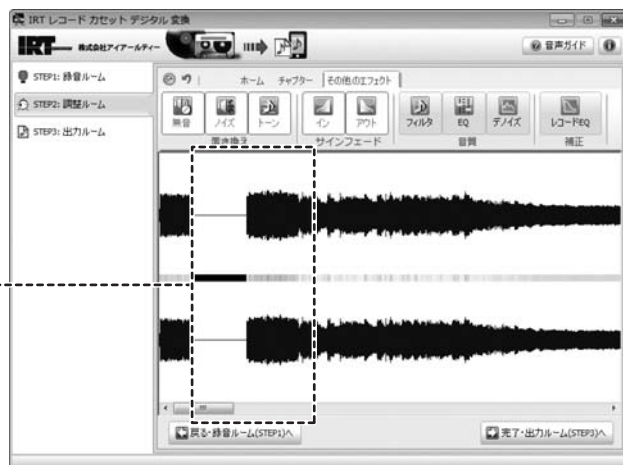
2



1



ヒスノイズが低減されました

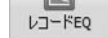


プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

その他のエフェクトタブ 録音した音にフォノイコライザーを適用する

フォノイコライザーを適用する範囲を設定しましたら、

ボタンをクリックします。



レコードEQ画面が表示されますので、各項目を設定して、

OK ボタンをクリックします。

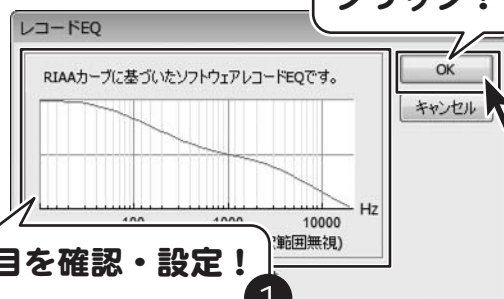
フォノイコライザーを適用する処理がはじまり、[処理中です。しばらくお待ちください。]という画面が表示されます。

[処理中です。しばらくお待ちください。]という画面が消え、メイン画面が表示されれば、録音した音にフォノイコライザーが適用されます。

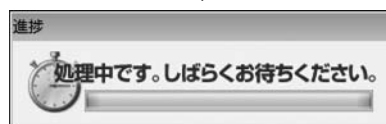


OK ボタンをクリック!

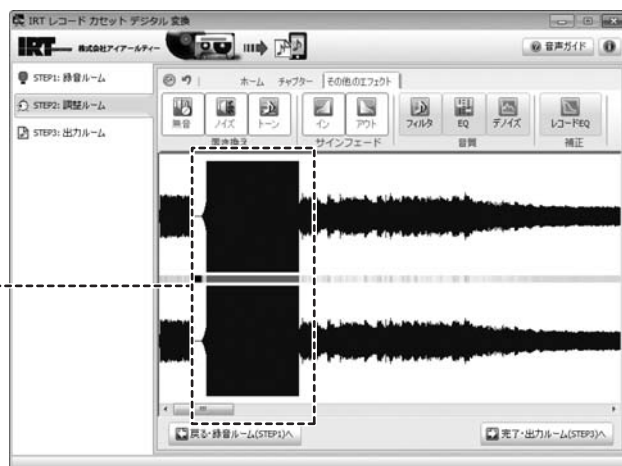
2



1



フォノイコライザー適用されました



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

音の調整がすべて終わりましたら、
完了・出力ルーム (STEP3) へ ボタンを
クリックします。



6 録音した音を書き出します

トラック一覧に表示されているトラックから、
書き出すトラックのチェックボックスをクリック
して、チェックを入れます。

次に、書き出すトラックの名前を入力します。

名前を変更するトラックをクリックして、青色の
枠に囲まれた状態にします。


この状態になると、トラックの名前を入力する
ことができます。


トラックの名前を入力しましたら、キーボードの
[Enter]キーを押します。




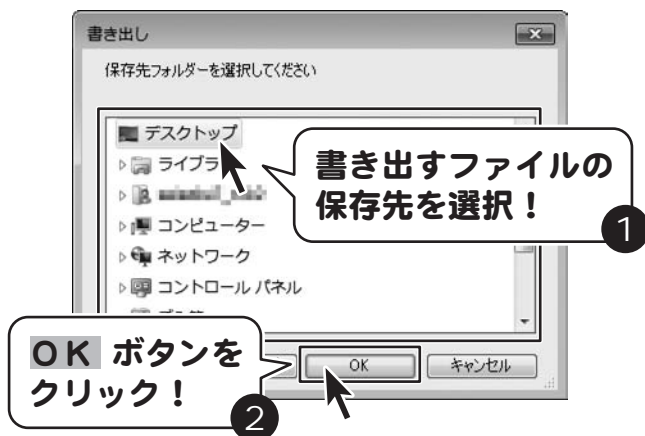
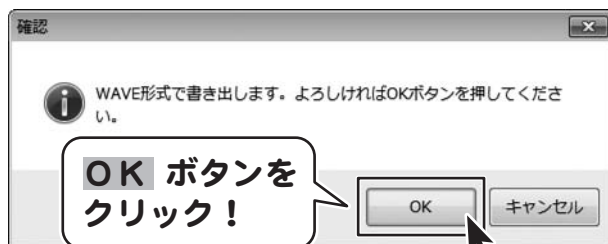
プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

WAVE形式で書き出す

トラックの名前を入力したら、
 WAVE ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、内容を確認し
 ボタンをクリックします。

書き出し画面が表示されますので、書き出す
ファイルの保存先を選択して、 ボタンを
クリックします。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする


書き出しがはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

正常に書き出しが完了しますと、
完了画面が表示されますので、内容を確認し
OK ボタンをクリックしてください。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

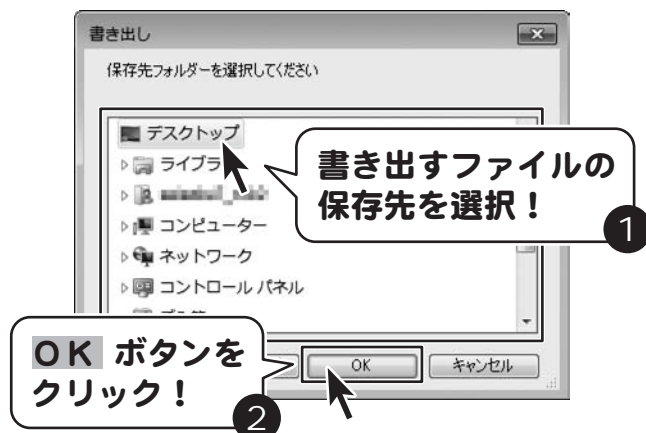
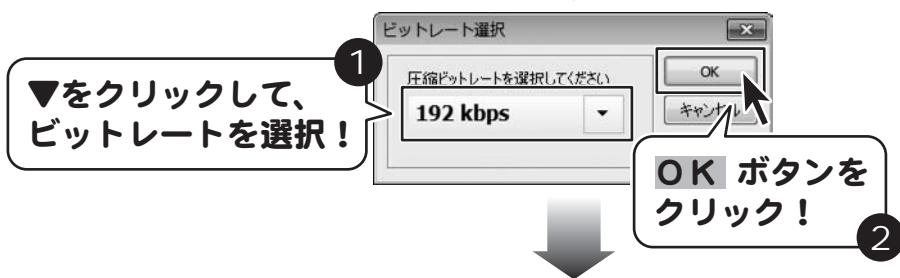
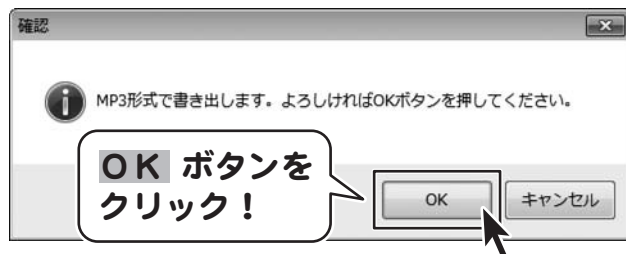
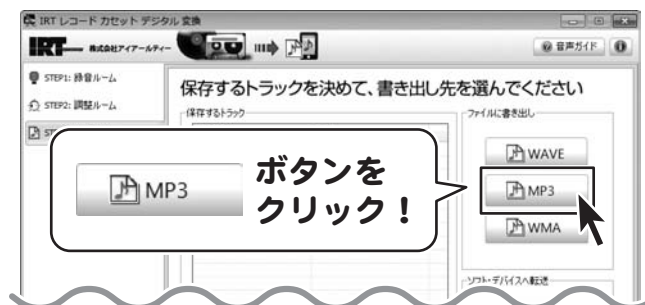
MP3形式で書き出す

トラックの名前を入力したら、
 MP3 ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、内容を確認し
OK ボタンをクリックします。

ビットレート選択画面が表示されますので、
▼をクリックして、ビットレートを選択し、
OK ボタンをクリックします。

書き出し画面が表示されますので、書き出す
ファイルの保存先を選択して、**OK** ボタンを
クリックします。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

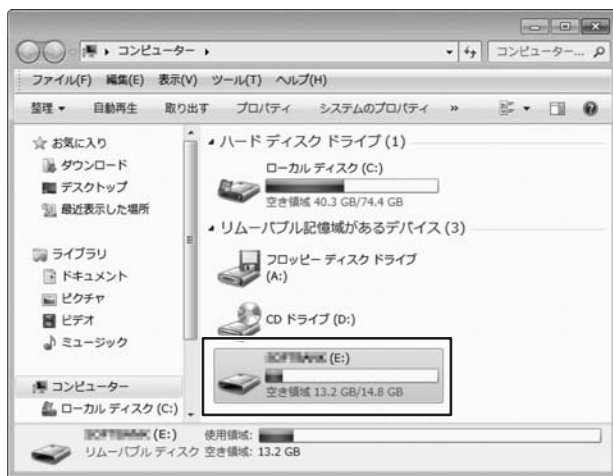
書き出しがはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

正常に書き出しが完了しますと、
完了画面が表示されますので、内容を確認し
OK ボタンをクリックしてください。

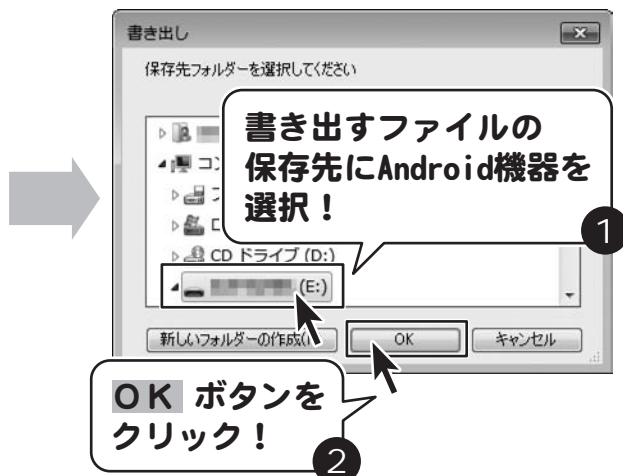


パソコン上でリムーバブルディスク等で認識されるAndroid機器の保存方法の一例です。

Android機器をパソコンに接続後、パソコン上でリムーバブルディスク等で認識された場合(下記画面参照)には、書き出したファイルをAndroid機器に直接転送することができませんので、41～42ページの操作方法で書き出してから、保存場所をAndroid機器に設定し、保存してください。




Android機器をパソコンに接続後、パソコン上で
リムーバブルディスク等で認識されている状態です。






※Android機器に直接保存する場合の操作
例です。


プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

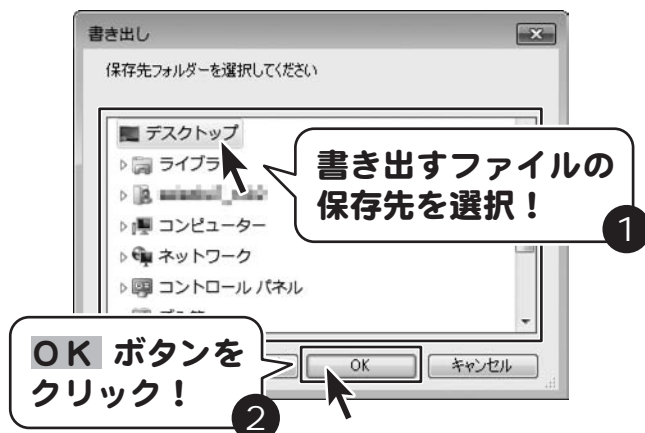
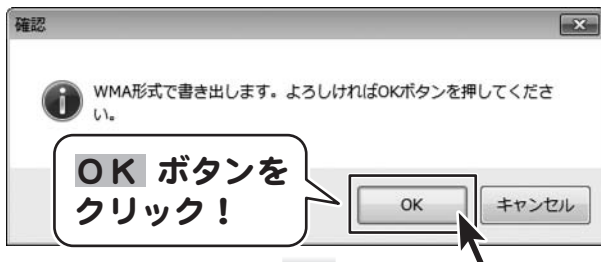
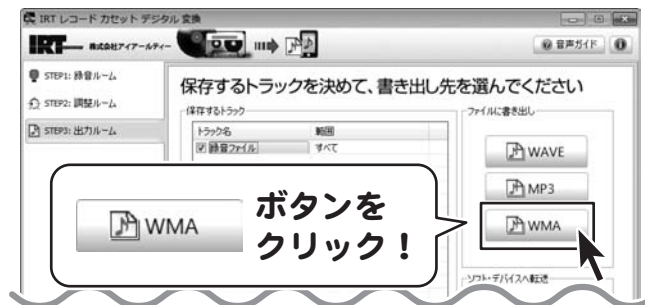
WMA形式で書き出す

トラックの名前を入力したら、
 ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、内容を確認し
 ボタンをクリックします。

ビットレート選択画面が表示されますので、
 をクリックして、ビットレートを選択し、
 ボタンをクリックします。

書き出し画面が表示されますので、書き出す
ファイルの保存先を選択して、 ボタンを
クリックします。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする


書き出しがはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

正常に書き出しが完了しますと、
完了画面が表示されますので、内容を確認し
OK ボタンをクリックしてください。



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

書き出し後、iTunesに転送する

トラックの名前を入力したら、
 ボタンをクリックします。

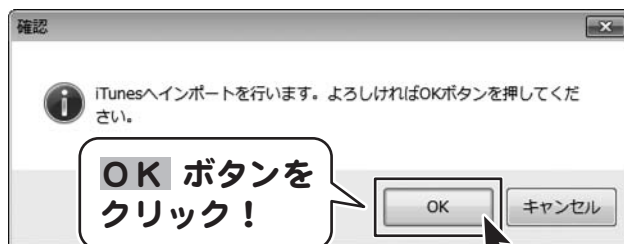
確認画面が表示されますので、内容を確認し
OK ボタンをクリックします。

書き出しがはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

正常に書き出し、iTunesへの転送が
完了しますと、完了画面が表示されますので、
内容を確認し、**OK** ボタンをクリックして
ください。

※iTunesへ転送されるファイルは、
MP3形式 ビットレート 256kbps
に変換され、転送されます。

※iTunesは最新バージョンの状態でお使い
ください。

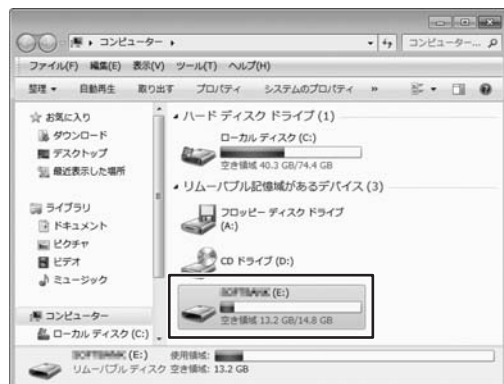



プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

書き出し後、Android機器（MTP転送対応機種のみ）に直接転送する

パソコンにAndroid機器を接続します。

Android機器をパソコンに接続後、パソコン上でリムーバブルディスク等で認識された場合（下記画面参照）には、書き出したファイルをAndroid機器に直接転送することができませんので、41～42ページの操作方法で一度書き出してから、保存場所をAndroid機器に設定し、保存してください。



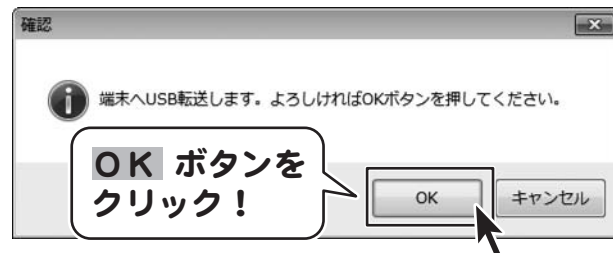
パソコンにAndroid機器を接続したら、 ボタンをクリックします。

MTP転送画面が表示されますので、直接転送するAndroid機器をクリックして選択し、**OK** ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、内容を確認し**OK** ボタンをクリックします。



1
直接転送する
Android機器を選択!

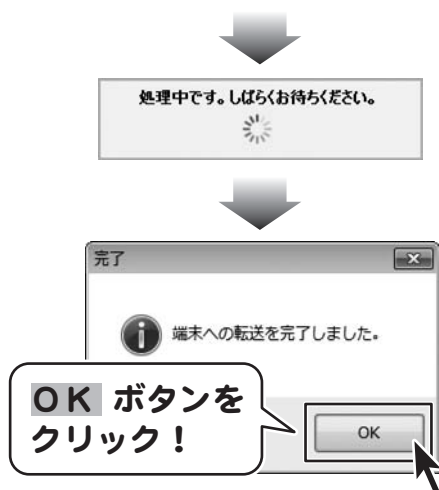


プレイヤーなどから音を録音・書き出しする

書き出しがはじまり、
[処理中です。しばらくお待ちください。]という
画面が表示されます。

正常に書き出し、Android機器への転送が
完了しますと、完了画面が表示されますので、
内容を確認し、**OK** ボタンをクリックして
ください。

※Android機器へ転送されるファイルは、
MP3形式 ビットレート 160kbps
に変換され、転送されます。



Q&A

インストール・起動について

Q：インストールができない

A：以下の項目をご確認ください。

- ウィルス対策などのソフトが起動していないか。
- HDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
- 管理者権限でログインしているか。
- Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。

**Q：管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動し、インストールしようとする
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。」(Vista/7)
「インストールプログラムにはディレクトリにアクセスする権限がありません。インストールを
継続できません。管理者としてログインするか、またはシステム 管理者にお問い合わせください。」(XP)と
表示されてインストールができません**

A：本ソフトをご利用の際には管理者権限を持ったユーザーアカウント上でご利用ください。

Q：ソフトの起動ができません

A：以下の項目をご確認ください。

- インストールは完了しているか。
- 管理者権限でログインしているか。
- 外付けの機器(ハードディスクやUSBメモリ等)にソフトをインストールしている場合、
それらの機器がパソコンに接続され、パソコン上で認識されているか。

Q：完全アンインストールの方法を教えてください

A：OSごとに次の手順で行ってください。

Windows XPの場合

1. 「アンインストール方法(4ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. マイコンピュータ→Cドライブ→Documents and Settings→(ユーザー)→Application Data※1→IRT→
Record_Henkanフォルダーを削除します。

Windows Vista、7の場合

1. 「アンインストール方法(4ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. コンピューター※2→Cドライブ→Users→(ユーザー)→AppData※1→Roaming→IRT→
Record_Henkanフォルダーを削除します。

※1 初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。

※2 Windows Vistaの場合はコンピュータ

隠しフォルダーの表示方法

[Windows 7の場合]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定:ファイルとフォルダーの表示[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を
選択→[適用]→ [OK]をクリック

[Windows Vistaの場合]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定:ファイルとフォルダの表示[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

[Windows XPの場合]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定:ファイルとフォルダの表示[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

Q&A

Q:ソフトの起動ができません

A:以下の項目をご確認ください。

- インストールは完了しているか。
- 管理者権限でログインしているか。
- 外付けの機器(ハードディスクやUSBメモリ等)にソフトをインストールしている場合
それらの機器がPCに接続され、PC上で認識されているか。

操作について

Q:録音を行いました、録音されていません

A:録音する機器のケーブルがマイク端子に正しく差し込まれているか、またオーディオ設定が正しく設定されているかご確認ください。

Q:持っているMP3、WAVEなどの音楽(音声)ファイルを読み込んで調整を行うことはできますか?

A:本ソフトから録音した音楽(音声)のみ調整することができます。

Q:対応している保存形式は?

A:WAVE、MP3、WMA形式に対応しています。

Q:iPod、iPod touch、iPhone、iPad、Android端末以外の機器でも再生できる?

A:WAVE、MP3、WMA形式に対応している機器であれば再生することができます。

Q:Android端末(※)に自動転送された音楽(音声)はどこに保存されますか?

A:転送された音楽(音声)は「Music」フォルダーに保存されます。

※MTP転送モード機器のみ

Q:Android端末に転送されていないようです

A:お使いのAndroid端末がパソコン上でリムーバブルディスク等として認識されている可能性があります。
その場合は説明書41ページの「MP3で書き出す」方法にて端末へ直接保存していただくか、
MP3保存したファイルを適切な方法でAndroid端末へ転送してください。

Q:Android端末がパソコン上で認識されていません

A:Android端末を認識するために必要なフォルダーが存在していない可能性があります。

以下の手順にてご確認ください。

1. Android端末をパソコンに接続して「マイコンピュータ(またはコンピューター、またはコンピュータ)」→Androidのリムーバブルディスクをダブルクリックします。
2. 右クリックして「新規作成」→「フォルダ(またはフォルダー)」を選択します。
3. 新しいフォルダーが作成されましたら、名称を「Android」に変更します。

Q：新しいパソコンに買い換えただ、データを使うことはできるの？

A：曲のデータを名前を付けて保存で保存したファイルは新しいパソコン(※)上でそのデータをご利用いただくことができます。
※本ソフトの動作環境を満たしているパソコンが前提となります。

Q：入力した文字が文字化けしてしまう

A：ご利用パソコンの言語設定をご確認ください。また併せて日付の設定もご確認ください。

Q：複数のユーザーで使用できますか？

A：本ソフトは、『1ソフト・1PC』でご利用いただくソフトです。
1つのパソコン内に二重インストール等を行うことはできません。

Q：他のパソコンとの共有はできますか？

A：本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作していただく仕様です。
ネットワーク等でご利用いただくことはできません。

Q：CDやDVDにデータの保存をするにはどうすればいいの？

A：本ソフトはCD、DVD等へ動画ファイルなどを直接保存する機能はありません。
CD、DVDに保存する際には対応OSで動作するライティングソフトや書き込み可能なドライブが必要です。
(ライティングソフトについては販売元のメーカー様にお問い合わせください。)

Q：本ソフトを他のパソコンと同時に使うことはできるの？

A：ネットワーク経由や、他のパソコンのデータとの同期はできません。
本ソフトはインストールを行ったパソコン上でご使用ください。

Q：画面がディスプレイに収まらない、画面が切れている

A：解像度の設定を動作環境を満たす設定に変更してください。

Windows XPの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」を左クリックし、設定(画面)タブをクリックします。
3. 画面の解像度を1024×768以上に設定します。
4. 「OK」をクリックして設定完了です。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」を左クリックし、「画面の設定」をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「適用」→「OK」をクリックして設定完了です。

Windows 7の場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「画面の解像度」をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「適用」→「OK」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、パソコンからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

Q&A

Q: ボタンをクリックしても反応しない、また画面が正常に表示されていない

A: お使いのパソコンのDPI設定が標準以外(96以外)に変更されている可能性があります。
以下の手順にてDPI設定を変更してください。

Windows XPの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「プロパティ」を左クリックし、設定(画面)タブをクリックします。
3. 詳細設定(詳細)をクリックし、「全般」タブの「DPI設定」(フォントサイズ)を「96DPI」(小さいフォント)に設定します。
4. 「OK」をクリックし、パソコンを再起動すれば設定完了です。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「個人設定」を左クリックし、「フォントサイズ(DPI)の調整」をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
4. 規定のスケール(96DPI)にチェックを付け、「OK」をクリックします。
5. コンピューターが自動的に再起動されますので、再起動したら設定完了です。

Windows 7の場合

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、パソコンからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

Q&A

Q:「2012 ***」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示される

A: Windowsの日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作（表示等）がされない場合があります。

以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

Windows XPの場合

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「日付・時刻・地域と言語のオプション」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「地域オプション」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「カスタマイズ」ボタンをクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「カレンダーの種類」 西暦（日本語）
「短い形式」 短い形式（S） yyyy/MM/dd
区切り記号 /
「長い形式」 長い形式（L） yyyy'年'M'月'd'日'
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

Windows Vistaの場合

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「この形式のカスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式（S） yyyy/MM/dd
長い形式（L） yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダーの種類」 西暦（日本語）
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

Windows 7の場合

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「Japanese(Japan)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

Windows OSやパソコン本体・キーボードなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせください。
弊社では一切の責任を負いかねます。

ユーザーサポート

本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などありましたら、パソコンの状況など具体例を参考にできるだけ詳しく書いていただき、メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

○ソフトのタイトル・バージョン

例:「レコード カセット デジタル 変換」

○ソフトのシリアルナンバー

本書の表紙に貼付されています。

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例:Windows 7

WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例:InternetExplorer 8

・パソコンの仕様

例:SONY Vaio XXXX-XXX-XX

PentiumIII 1GHz HDD 120GB Memory 1GB

・プリンターなど接続機器の詳細

例:プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している

インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

○お問合せ内容

例:~の操作を行ったら、~というメッセージがでてソフトが動かなくなった

□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先など

■ご注意

※お客様よりいただいたお問合せに返信できない現象が多発しております。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りくださいますようお願い申し上げます。

また、お問い合わせいただく前に、プリンター等の設定などを今一度ご確認ください。

時間帯等によっては、混雑等により一時的に電話が繋がりにくい場合があります。

その際はお手数ですが、時間をずらしておかけ直してください。



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。
パソコンのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べのうえ
お伝えください。

TEL 048-640-2582 FAX 048-640-2582
E-mail info@irtnet.jp URL http://irtnet.jp/

受付時間 平日AM10:00~PM5:30
土、日、祭日を除く



株式会社アイアールティー

